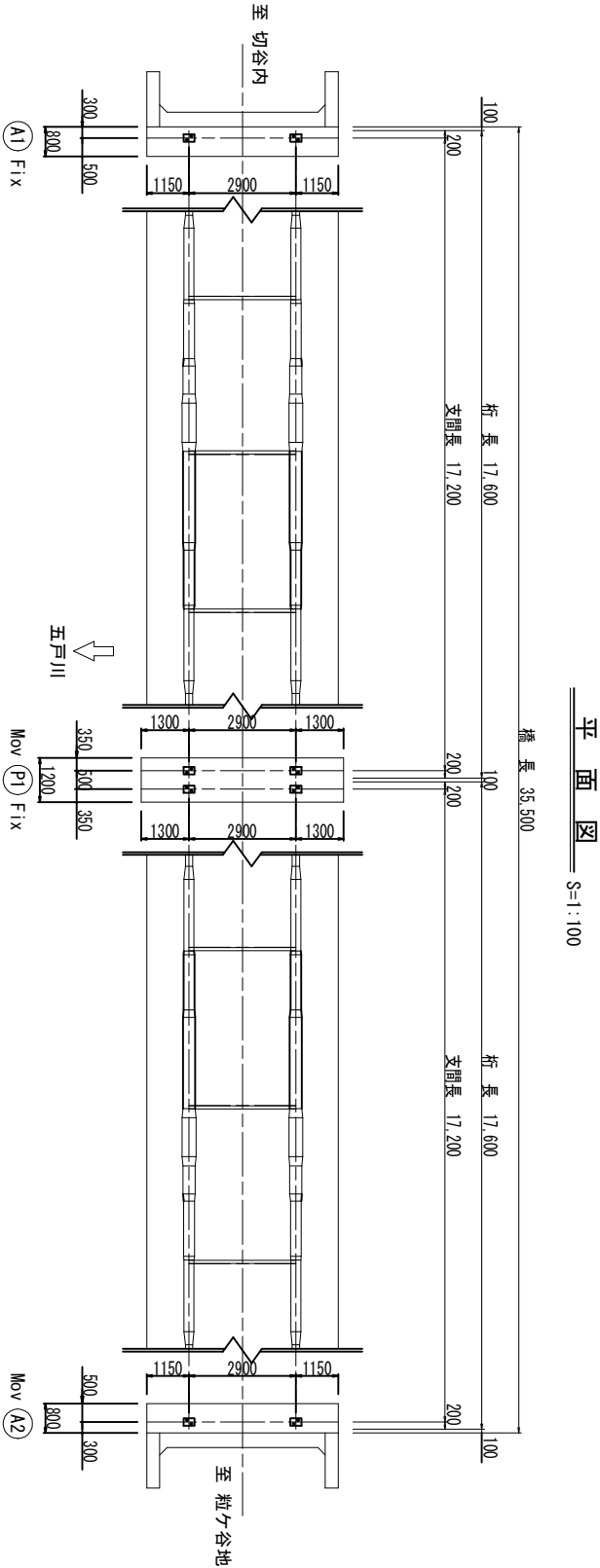


令和7年度	橋梁補修	工事
工事番号	第 31 号	
路 線 名	粒ヶ谷地戸線	
地 区 名	三戸郡五戸町大字切谷内 地内	
施 工 所	支 承 補 修 箇 所	
支 承 補 修 箇 所	支 承 補 修 箇 所	
図面番号	19 葉中 13	
五 戸 町		
青 森 県		

粒ヶ谷地橋

凡 例	対 策 工 法
表示	支 承 保 護 工
	塗 替 え 塗 装 工

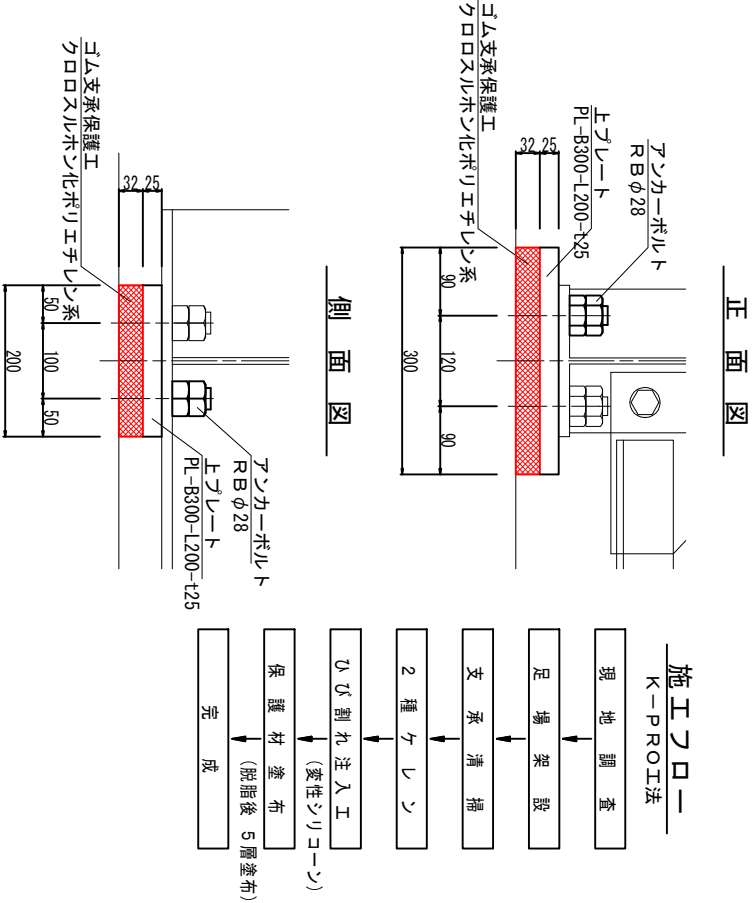


支 承 補 修 図

【支承保護工・塗替塗装工】

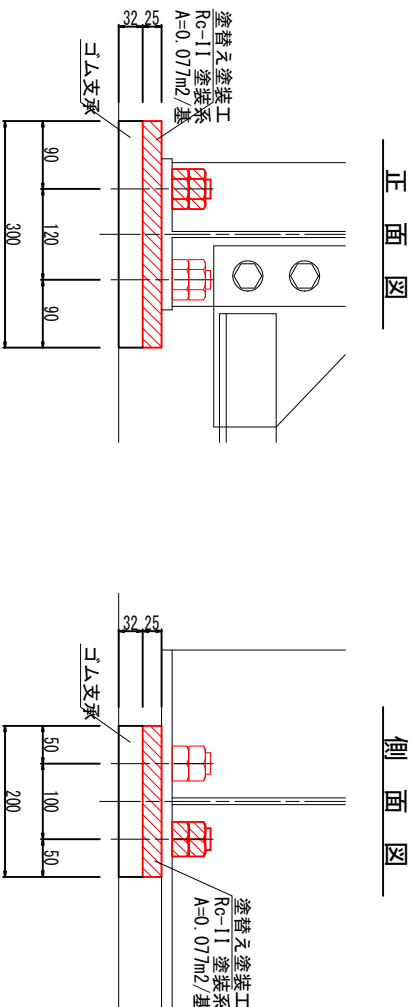
支承保護工詳細図 S=1:5

(K-P R O 工 法)



塗替え塗装工詳細図 S=1:5

(上プレート、アンカーボルト)



Rc-11 塗装系

塗装工種	塗 料 名	標準使用量 (g/㎡)	塗装間隔
剥離剤塗布	インバイロワニ工法 (案) ※1	1,000 g/㎡	
素地調整	3種ケレンA		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント ※2	(240 g/㎡)	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200 g/㎡	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200 g/㎡	1日～10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140 g/㎡	1日～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120 g/㎡	1日～10日

- ※1. 剥離剤は塗膜剥離試験を実施して選定し、塗布量や塗布回数は試験施工を実施して決定すること。
- ※2. 素地調整程度3種Aではあるが、健全なジンクリッチプライマーやジンクリッチペイントを残し、他の旧塗膜を全面撤去した場合は、鋼材露出部のみ有機ジンクリッチペイントを塗布すること。この際、使用量の目安は 240g/㎡程度である。素地調整程度2種で旧塗膜を全面撤去した場合は、有機ジンクリッチペイントの使用量が 600g/㎡である。
- ※3. 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。

数 量 表

品 名	仕 様 ・ 規 格	単位	A1橋台	P1橋脚	A2橋台	合 計	備 考
ゴム支承保護工							
ゴム支承保護	クロロスルホン化ポリエチレン系	2	4	2		8	ゴム支承
塗替塗装工							
塗膜除去工	塗膜剥離剤処理	㎡	0.154	0.308	0.154	0.616	
塗替え塗装工	Rc-11塗装系	㎡	0.154	0.308	0.154	0.616	

- 注 記
- 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
 - 施工する際は、再度現地検測を行って寸法等を確認すること。
 - 塗替え塗装工の塗装仕様に関しては、鋼部材補修工に進ずるものとし、下記に留意して作業を行うこと。
 - 含有試験より基準値以上の鉛が検出されたため、溶出試験を実施して産業廃棄物の分類を決定すること。
 - 剥離作業は湿式を原則とし、剥離剤の選定は塗膜剥離試験を実施して決定すること。